

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

事業名	橋梁耐震対策・長寿命化修繕事業（継続）
-----	---------------------

担当	建設部 道路建設課
----	--------------

（単位：千円）

予算額		226, 926	リーディング プロジェクト	4	安心な市民生活を支える災害に強いまちづくり
財 源 内 訳	国県支出金	100, 871	基 本 目 標	4	全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地 方 債	74, 200			
	そ の 他		政 策 方 針	1	時代の変化に対応した防災のまちづくり
	一 般 財 源	51, 855			
全体事業費		226, 926	事 業 期 間	令和7年度	

事業の目的

橋梁の耐震性の向上を図り、災害時における緊急輸送道路等を確保するとともに、長寿命化修繕計画に基づき、計画的かつ予防的な修繕を行うことで道路交通の安全性を確保します。

事業の概要

【これまでの経緯】

耐震化予定の橋梁33橋のうち、30橋について落橋防止等を施工しました。
また、長寿命化修繕計画に基づき、1橋の架替工事及び27橋の修繕工事を施工しました。

【今年度事業内容】

（単位：千円）

事業概要	事業費
並木橋長寿命化修繕設計委託	14,630
神立小学校前歩道橋長寿命化工事	20,592
常磐線3号橋（二番橋）架替JR工事委託外	151,704
常磐線3号橋（二番橋）架替工事に伴う付帯工事	40,000
合計	226,926



東真鍋1号橋（木田余立体橋）
落橋防止施工後

【今後の予定】

令和9年度までに、31橋の耐震化及び36橋の修繕工事を計画しています。

期待される効果・成果目標等

計画的に橋梁の耐震補強及び予防的な修繕を実施することにより、橋梁の長寿命化を図るとともに、予算の平準化と維持管理費用の削減を行い、将来にわたって道路交通の安全性と信頼を確保します。

※進捗率（令和6年度末見込）

耐震対策事業 90.9%（30／33）、長寿命化修繕事業 11.7%（28／239）

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

事業名	道路新設改良事業	(継続)
-----	----------	------

担当	建設部 道路建設課
----	--------------

(単位：千円)

予算額		317,361	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	50,000	基 本 目 標	8 効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地 方 債	45,000		
	そ の 他		政 策 方 針	2 魅力的な都市環境・住環境の創出
	一 般 財 源	222,361		
全体事業費		317,361	事 業 期 間	令和7年度

事業の目的

幹線道路（Ⅰ、Ⅱ級幹線）の拡幅改良工事、歩道整備、生活道路及び狭隘な市道の改良工事、舗装工事及び交通安全施設工事を計画的に進め、道路機能の向上と市全体の道路網確立を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

道路延長（令和5年度末現在） L = 1,540,175m（6,976路線）
うち改良延長 L = 753,168m（改良率48.90%）

【今年度事業内容】

(単位：千円)

区分	概要	事業費
道路改良工事費	12路線 L = 1,330m	199,048
測量設計委託料	11路線 L = 2,415m	33,000
公有財産購入費	9路線	18,099
物件移転補償費	9路線	50,000
役務費	鑑定料、登記料	13,600
事務費等		3,614
合計		317,361



整備前



整備後

市道中高津二丁目3号線 整備状況

【今後の予定】

住みよいまちの実現の基礎となる生活道路の整備を計画的に進めていきます。

期待される効果・成果目標等

日常生活の利便性向上及び地域環境の改善を図るとともに、歩行者と自転車の安全を確保し、交通事故の防止に寄与します。
また、緊急車両等の通行を可能にし、市民の安全を確保します。

款	土木費	項	河川費
---	-----	---	-----

事業名	都市下水路整備事業／小規模排水路整備事業（継続）	担当	建設部 下水道課
-----	--------------------------	----	-------------

(単位：千円)

予算額		209,887	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	39,926	基 本 目 標	4 全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地 方 債			
	そ の 他		政 策 方 針	5 激甚化する水害に対応するまちづくり
	一 般 財 源	169,961		
全体事業費		209,887	事 業 期 間	令和7年度

事業の目的

都市下水路や小規模排水路を計画的に整備することにより、雨水を速やかに排除し、豪雨による道路冠水等を解消するとともに、生活環境の改善を図ります。

事業の概要

◎都市下水路整備事業

【これまでの経緯】

平成22年度から、西根竹の入都市下水路整備工事を実施しています。
荒川沖都市下水路は令和5年度に基本設計委託、令和6年度に実施設計委託を実施しました。

【今年度事業内容】

- ・西根竹の入都市下水路整備工事 L = 50m
※特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用します。
- ・荒川沖都市下水路整備工事 L = 14m

【今後の予定】

西根竹の入都市下水路については、引き続き特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、年次計画により整備します。

荒川沖都市下水路については、令和7年度から整備を実施します。

◎小規模排水路整備事業

【これまでの経緯】

田中三丁目・虫掛地内小規模排水路整備工事を実施しました。

【今年度事業内容】

- ・虫掛地内小規模排水路整備工事 L = 124m

【今後の予定】

引き続き、浸水対策の一環として整備を行っていきます。



西根竹の入都市下水路整備状況

期待される効果・成果目標等

大雨による浸水被害が減少し、市民の生活環境の向上に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	地域公共交通確保維持改善事業	(継続)	担当	都市政策部 都市計画課
-----	----------------	------	----	----------------

(単位：千円)

予算額		64,339	リーディング プロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財 源 内 訳	国県支出金		基 本 目 標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地 方 債				
	そ の 他		政 策 方 針	2	魅力的な都市環境・住環境の創出
	一 般 財 源	64,339			
全体事業費		64,339	事 業 期 間	令和7年度	

事業の目的

地域公共交通計画に基づき、「利用者が地区特性に応じた公共交通で快適に移動できるまち」の実現に向けた取り組みを推進します。

事業の概要

【これまでの経緯】

- ・令和4年3月 土浦市地域公共交通計画策定（計画期間：令和4年度～令和8年度 5年間）
- ・令和4年4月～ 土浦市地域公共交通計画に基づく施策の実施
（公共交通マップ、マイ時刻表サービス、既存公共交通の維持、新規コミュニティ交通導入等）

【今年度事業内容】

- ・地域公共交通計画に位置付けたコミュニティ交通導入促進地域におけるコミュニティ交通の実証運行
- ・地域連携公共ライドシェアの運行
- ・地域、事業者、関係団体等との協働による公共交通ネットワークの確保・維持・改善等
- ・交通弱者への移動支援（三輪自転車購入の補助）

(単位：千円)

概要	事業費
新規公共交通導入対象地区への意向調査費用	73
協議会負担金（地域公共交通確保維持改善事業、公共交通PR事業等）	39,221
バス運行対策費負担金（地域幹線系統への県との協調補助）	2,684
地域連携モビリティサービス事業負担金	10,192
霞ヶ浦広域バス運行対策費補助金	2,653
千代田神立ライン運行補助金	9,266
三輪自転車購入補助金	250
合計	64,339

【今後の予定】

コミュニティ交通の実証運行の検証を進めるとともに、公共交通事業者への支援を通して既存路線の維持を図ることで、公共交通不便地域の解消を目指します。

期待される効果・成果目標等

利用しやすい公共交通環境の整備、各公共交通の役割分担と連携強化、地域・事業者・行政の協働による公共交通の確保・維持・改善によって、公共交通利用者の満足度の向上、公共交通利用者数の維持、公共交通不便地域の解消に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	地域地区等調査事業	(継続)	担当	都市政策部 都市計画課
-----	-----------	------	----	----------------

(単位：千円)

予算額		36,637	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金		基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債				
	その他		政策方針	3	時代の変化に応じた持続可能な都市の形成
	一般財源	36,637			
全体事業費		36,637	事業期間	令和7年度	

事業の目的

地域の実情に合った都市計画の見直しを実施するとともに、地区計画の導入等を通して地域特性に応じた土地利用の誘導を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

- ・令和2年度 都市計画決定及び変更図書作成、GISデータ更新、用途地域図印刷
- ・令和3年度 都市計画基礎調査、基本図修正、地形図印刷
- ・令和4年度 GISデータ更新
- ・令和5年度 地域地区等調査（地区計画）、用途地域図印刷
- ・令和6年度 地域地区等調査（地区計画、用途地域）、GISデータ更新

【今年度事業内容】

地域の実情に合った都市計画の見直しを図るため、都市計画基礎調査等を踏まえ、地域地区等調査を実施するとともに、地区計画区域内の区画道路に係る基礎調査を実施します。また、都市計画の決定等に応じてGIS等の都市計画情報の更新を実施します。



瀧田地区 地区計画

(単位：千円)

区分	概要	事業費
報償費等	審議会運営等	255
委託料	・地区計画に係る基礎調査（道路測量）委託 ・地域地区等調査及び変更図書作成委託 ・都市計画情報等GIS更新委託	36,382
合計		36,637

【今後の予定】

今年度の地域地区等調査を踏まえ、都市計画の見直しを実施するとともに、都市計画の決定等に応じてGIS等の都市計画情報の更新を行います。

期待される効果・成果目標等

区域区分及び用途地域の見直しを通して地域の実情に合った都市計画の見直しを行うことにより、効率的な行財政運営を図り、持続可能なまちづくりを推進します。また、地区計画の導入を通して地域特性に応じた土地利用の誘導を図り、産業用地の創出、地域の活性化を図ります。さらに、GIS等の都市計画情報の更新を行い、利用者が最新の都市計画情報にアクセスできる環境を創出します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	開発候補地調査検討事業	(継続)	担当	都市政策部 都市整備課
-----	-------------	------	----	----------------

(単位：千円)

予算額		8,095	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金		基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債				
	その他		政策方針	3	時代の変化に応じた持続可能な都市の形成
	一般財源	8,095			
全体事業費		8,095	事業期間	令和7年度	

事業の目的	スマートインターチェンジ整備及びつくばエクスプレス延伸等、交通ネットワークの形成を見据え、新たな地域開発に向けた基礎資料の作成を行います。
-------	--

事業の概要

【これまでの経緯】

スマートインターチェンジ整備及びつくばエクスプレス延伸等を見据え、開発の候補地となる地区を抽出した上で、土地利用状況や諸条件等の現況を整理し、開発可能性の検討を行いました。

【今年度事業内容】

開発候補地の事業スキーム、事業化方策の検討、民間開発事業者へのヒアリング、概略事業計画の検討等を行い、まちづくりの基本構想及び事業化の可能性を検討するための基礎資料を作成します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	開発候補地可能性調査検討委託	8,000
旅費等	事務費（旅費、使用料）	95
合計		8,095

【今後の予定】

前年度の検討を踏まえ、最も効率的で効果的な方策による適正な土地利用の誘導を図り、産業発展を促す拠点整備を推進します。

土地利用イメージ図

期待される効果・成果目標等	新たな交通ネットワークの形成に合わせた土地利用を図ることで、人口の増加や経済の活性化が期待されます。
---------------	---

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	スマートインターチェンジ整備事業（継続）	担当	都市政策部 都市計画課
-----	----------------------	----	----------------

(単位：千円)

予算額		86,141	リーディング プロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財 源 内 訳	国県支出金	26,000	基 本 目 標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地 方 債	23,600			
	そ の 他		政 策 方 針	2	魅力的な都市環境・住環境の創出
	一 般 財 源	36,541			
全体事業費		86,141	事 業 期 間	令和7年度	

事業の目的

スマートインターチェンジを設置することにより、地域生活の充実や地域経済の活性化が期待できることから、整備に向け必要な業務を実施します。

事業の概要

【これまでの経緯】

- ・令和2～3年度 スマートインターチェンジ設置可能性調査の実施
(必要性、設置候補地位置、交通量推計、整備効果の検討等)
- ・令和4～6年度 スマートインターチェンジ設置検討調査の実施
(予備設計、交通量推計、地質調査・軟弱地盤解析、各修正等)
- ・令和5年9月8日 国による準備段階調査箇所への選定
- ・令和6年9月6日 国による新規事業化の決定

【今年度事業内容】

NEXCO東日本やつくば市等の関係機関と調整しながら、スマートインターチェンジの整備に必要な設計及び調査を実施します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	・スマートインターチェンジ詳細設計委託 ・スマートインターチェンジ地質調査委託	86,141

【今後の予定】

早期の完成に向け、引き続き、NEXCO東日本やつくば市等の関係機関と協議を実施しながら、用地測量や用地買収、工事等を実施します。

期待される効果・成果目標等

スマートインターチェンジの整備により、高速道路の利便性向上が図られるほか、中心市街地へのアクセス向上や観光振興の支援、物流の定時性向上・効率化の支援、救急医療の支援等による地域経済の活性化への効果が期待できます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	インターチェンジ周辺地区土地利用促進事業（継続）	担当	都市政策部 都市整備課
-----	--------------------------	----	----------------

(単位：千円)

予算額		60,978	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金		基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債				
	その他		政策方針	3	時代の変化に応じた持続可能な都市の形成
	一般財源	60,978			
全体事業費		60,978	事業期間	令和7年度	

事業の目的

インターチェンジ周辺地区において、広域交通ネットワークを活かした産業発展を促す拠点として適切な土地利用の誘導を行い、民間事業所等の立地促進を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

令和2年度から現況調査、土地利用構想策定等に取り組むとともに、民間事業者ヒアリング等により企業立地ニーズの把握を行いました。

令和5年度には地権者で構成する発起人会が立ち上がり、勉強会を開催するとともに、土地区画整理組合の前身組織となる準備委員会の結成に向けて、仮同意の取得を進めました。

令和6年度は、90%以上の仮同意が得られたことにより準備委員会が結成され、民間事業者の豊富な経験とノウハウを導入するため、事業協力者の公募・選定を行いました。

【今年度事業内容】

- ・基本計画案の作成と併せて、施行区域界を決定するための地区界測量を行います。
- ・組合設立に向け、準備委員会と連携し、地権者合意形成を図ります。
- ・地区内の埋蔵文化財試掘調査を実施します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	事業化検討調査委託	54,360
工事請負費	埋蔵文化財調査試掘工事	1,800
需用費等	事務費（報酬、旅費等）	4,818
合計		60,978



事業化検討エリア

【今後の予定】

適正な土地利用の誘導を図り、産業発展を促す拠点整備を推進します。

期待される効果・成果目標等

インターチェンジ周辺への土地利用の誘導により、民間事業所等の立地促進を図り、地域経済の活性化や雇用の場の創出など、多くの経済効果が期待されます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	田村沖宿線延伸道路整備事業	(継続)	担当	建設部 道路建設課
-----	---------------	------	----	--------------

(単位：千円)

予算額		66,350	リーディング プロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財 源 内 訳	国県支出金	32,890	基 本 目 標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地 方 債	24,200			
	そ の 他	6,682	政 策 方 針	2	魅力的な都市環境・住環境の創出
	一 般 財 源	2,578			
全体事業費		2,214,012	事 業 期 間	平成24年度 ～ 令和9年度	

事業の目的

国道354号おおつ野団地入口交差点から神立駅東地区方面の区間を整備することで、南北方向の道路網強化を図るとともに、近隣の学校への通学路として、児童・生徒の安全を確保します。

事業の概要

【これまでの経緯】

令和6年度は、道路改良工事を実施しました。

【今年度事業内容】

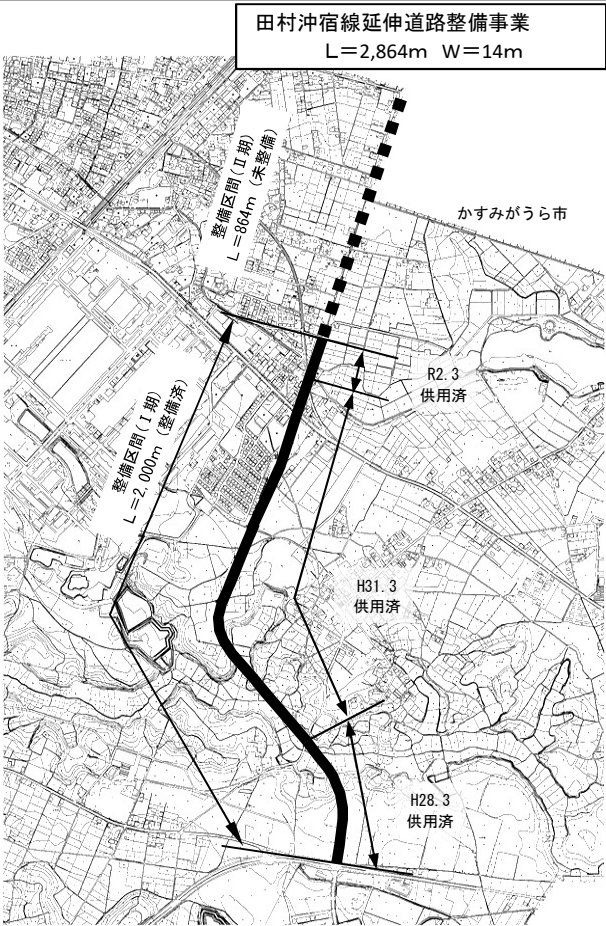
令和7年度も引き続き道路改良工事を実施します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
補償補填及び賠償金	電柱移設	5,000
工事請負費	道路改良工事	61,300
需用費	消耗品	50
合計		66,350

【今後の予定】

令和9年度末までの事業完了を目指します。



期待される効果・成果目標等

神立駅東部地区及び隣接するかすみがうら市とおおつ野地内の円滑な交通体系が構築され、総合病院である土浦協同病院へのアクセス向上が図られます。
 また、歩行者と自転車の安全な通行帯が確保されます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	荒川沖木田余線（Ⅱ期）整備事業（継続）	担当	建設部 道路建設課
-----	---------------------	----	--------------

(単位：千円)

予算額		426,687	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金	174,375	基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債	234,400			
	その他		政策方針	2	魅力的な都市環境・住環境の創出
	一般財源	17,912			
全体事業費		5,240,466	事業期間	平成30年度～令和15年度	

事業の目的	県道土浦港線から都市計画道路真鍋神林線まで（県事業区間除く）の3車線区間（Ⅱ期：L＝630m）を4車線化することにより、道路ネットワークの強化及び交通渋滞の緩和を図ります。
-------	---

事業の概要

【これまでの経緯】

令和6年度は用地買収・物件補償等を実施しました。

【今年度事業内容】

令和7年度も引き続き用地買収・物件補償等を実施します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
公有財産購入費	用地買収	32,000
補償補填及び賠償金	物件補償	357,000
役務費	不動産鑑定 補償費算定	2,343
工事請負費	道路改良工事	32,500
使用料及び賃借料	借地等	2,565
需用費等	消耗品等	279
合計		426,687

【今後の予定】

令和15年度までの事業完了を目指します。

荒川沖木田余線(Ⅱ期)整備事業
L=630m W=25m

整備区間(Ⅱ期)
L=630m

市道区間
L=730m

県道区間
L=270m

整備区間(Ⅰ期)
L=1,300m

令和5年12月
4車線供用開始

新港橋

土浦港

凡例

- : 市事業区間(Ⅱ期)
- : 市事業区間(Ⅰ期)
- : 県事業区間

期待される効果・成果目標等	交通渋滞の原因となる3車線区間を4車線化することにより、道路ネットワークが強化され、物流・防災機能の向上が図られるとともに、市街地の交通渋滞が緩和され、安全性の向上が期待されます。
---------------	---

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	木田余神立線街路事業（Ⅱ期）	（継続）	担当	建設部 道路建設課
-----	----------------	------	----	--------------

（単位：千円）

予算額		512, 224	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金	253, 000	基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債	186, 300			
	その他		政策方針	2	魅力的な都市環境・住環境の創出
	一般財源	72, 924			
全体事業費		1, 628, 604	事業期間	平成24年度 ～ 令和8年度	

事業の目的

都市計画道路中貫白鳥線から北側の未整備区間を整備し、南北軸の道路ネットワーク強化を図るとともに、神立小学校の通学路として、児童の安全を確保します。

事業の概要

【これまでの経緯】

令和6年度は、道路改良工事を実施しました。

【今年度事業内容】

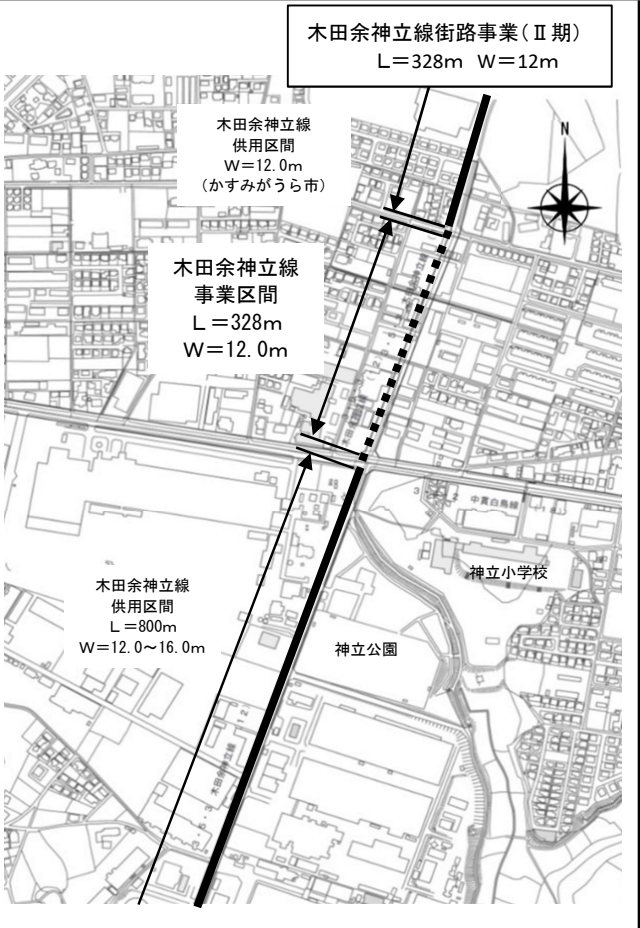
令和7年度は、用地買収・物件補償並びに道路改良工事を実施します。

（単位：千円）

区分	概要	事業費
公有財産購入費	用地買収	20, 500
補償補填及び賠償金	物件補償	441, 500
役務費	不動産鑑定 補償費算定	9, 174
工事請負費	道路改良工事	41, 000
需用費	消耗品	50
合計		512, 224

【今後の予定】

令和8年度末までの事業完了を目指します。



期待される効果・成果目標等

歩行者の安全な通行帯が確保されるほか、近隣にある救急告示病院である神立病院や指定緊急避難場所である神立公園へのアクセス向上が図られます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	川口ショッピングモール歩行空間再構築事業（継続）	担当	都市政策部 都市整備課
-----	--------------------------	----	----------------

（単位：千円）

予算額		35,739	リーディングプロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	9,790	基本目標	3 「しごと」を核とした活力のあるまちづくり
	地方債	8,800		
	その他		政策方針	1 中心市街地のにぎわいと活力の創出
	一般財源	17,149		
全体事業費		35,739	事業期間	令和7年度

事業の目的

中心市街地の主要な回遊ルートとなっている川口ショッピングモールの歩行空間について、通行に安全な歩道としてだけでなく、活用される魅力ある歩行空間として再構築し、にぎわい創出を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

昭和60年に高架道と併せて整備された川口ショッピングモールの歩行空間について、現況の課題や地元関係者の意見を踏まえ、活用構想案の作成を進めました。

【今年度事業内容】

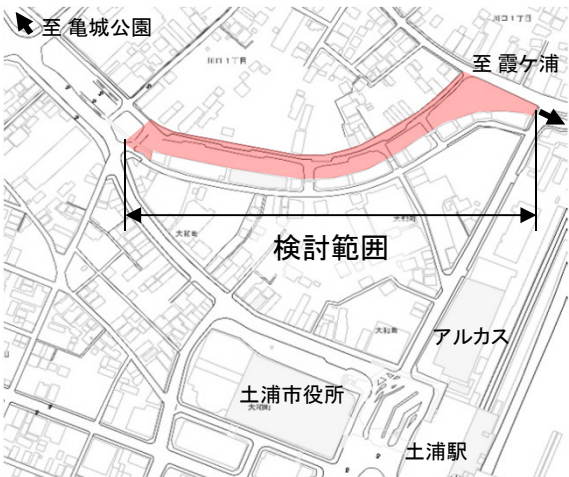
基本計画を作成するとともに、路線測量や詳細設計を進めます。

（単位：千円）

区分	概要	事業費
委託料	歩行空間再構築基本計画策定委託、歩行空間再構築測量・設計委託	35,739



現況写真



位置図

【今後の予定】

にぎわい創出に向け、活用される魅力ある歩行空間の再構築を推進します。

期待される効果・成果目標等

魅力ある歩行空間を再構築することにより、多くの人が行き交い、交流する空間が創出され、中心市街地の活性化に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	まちなか定住促進支援事業	(継続)	担当	都市政策部 都市整備課
-----	--------------	------	----	----------------

(単位：千円)

予算額		22,393	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	11,196	基 本 目 標	3 「しごと」を核とした活力のあるまちづくり
	地 方 債			
	そ の 他		政 策 方 針	1 中心市街地のにぎわいと活力の創出
	一 般 財 源	11,197		
全体事業費		246,727	事業期間	平成26年度 ～ 令和10年度

事業の目的

中心市街地活性化基本計画に基づき、定住促進を図る支援制度を実施することで、居住人口の増加を促し、活力とにぎわいのある中心市街地の再生を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

市外から中心市街地に転入する新婚世帯、子育て世帯、学生世帯に対して、家賃の一部補助を実施するとともに、新婚世帯、子育て世帯に対しては住宅購入に係る借入金の一部補助を実施しました。また、令和6年度には、中心市街地に新たに賃貸住宅を建設する事業者に対して、建設費の一部補助に向けた工事の認定を行いました。

【今年度事業内容】

引き続き、中心市街地に転入する世帯への補助の実施や、新たな賃貸住宅を建設する事業者への補助を実施します。

(単位：千円)

助成制度	概要	事業費
まちなか賃貸住宅 家賃補助	市外から中心市街地の賃貸住宅に住み替える新婚世帯又は子育て世帯に対し、家賃の1/2（上限2万円）を最大3年間補助します。さらに、多世代近居・同居となる世帯へは、家賃補助額へ加算（1万円/月）を行います。また、市外から中心市街地の賃貸住宅に住み替える単身学生世帯に対し、家賃の1/2（上限1万円）を最大4年間補助します。	7,793
まちなか住宅購入 等借入金補助	市外から中心市街地に住宅を新築又は購入して住み替える新婚世帯又は子育て世帯に対し、住宅購入借入金の3%（上限50万円）を補助します。さらに、多世代近居・同居となる世帯に対し、購入等借入金補助額への加算（上限10万円～20万円）を行います。	5,600
まちなか賃貸住宅 建設補助	中心市街地で新たに賃貸住宅を建設する事業者に対し、建設費の一部を助成します。（100万円/戸）	9,000
合計		22,393

【今後の予定】

第三期中心市街地活性化基本計画の計画期間である令和10年度まで事業を実施し、中心市街地への定住促進を図ります。

期待される効果・成果目標等

中心市街地への居住を促進し、中心市街地における活力とにぎわいのあるまちづくりに寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	中心市街地まちなか再生事業	(継続)	担当	都市政策部 都市整備課
-----	---------------	------	----	----------------

(単位：千円)

予算額		15,000	リーディングプロジェクト	2	未来につなげる「地域の宝」を生かしたまちづくり
財源内訳	国県支出金		基本目標	3	「しごと」を核とした活力のあるまちづくり
	地方債				
	その他		政策方針	1	中心市街地のにぎわいと活力の創出
	一般財源	15,000			
全体事業費		15,000	事業期間	令和7年度	

事業の目的

都市機能が集積した土浦駅周辺と歴史的まちなみが維持されている亀城公園周辺の中間に位置する中央一丁目地区において、商業施設等の民間活力の導入、子育て支援施設や交流拠点施設等の公共施設導入を進めるとともに、周辺の公共空間の活用・整備によるにぎわい創出を図り、中心市街地全体の活性化を目指します。

事業の概要

【これまでの経緯】

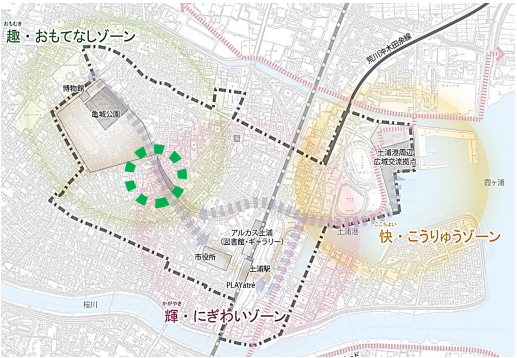
地権者への意向確認や、民間事業者へのヒアリング、関係機関との協議、地元中高生とのワークショップなどを行い検討を進め、令和5年度に基本構想を作成し、令和6年度は基本計画の作成を進めました。

【今年度事業内容】

事業用地の測量を行います。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	用地測量委託	15,000



位置図

【今後の予定】

地権者との合意形成を図るとともに、民間事業者による事業参入の可能性を引き続き検討しながら、新たな拠点施設の整備に向けて取り組みます。

期待される効果・成果目標等

中央地区の地域特性を活かした官民連携によるまちづくり施策の展開により、当該地区の活性化に加えて、中心市街地全体への波及効果が期待されます。

款	消防費	項	消防費
---	-----	---	-----

事業名	常備消防車両更新事業	(継続)	担当	消防本部 消防総務課
-----	------------	------	----	---------------

(単位：千円)

予算額		40,107	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	17,113	基 本 目 標	4 全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地 方 債	5,700		
	そ の 他		政 策 方 針	3 全ての災害から市民を守る消防・救急体制の強化
	一 般 財 源	17,294		
全体事業費		40,107	事 業 期 間	令和7年度

事業の目的

更新基準に達している消防車両を計画的に更新することにより、消防力の強化を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

消防車両更新計画に基づき、消防ポンプ自動車、救急車の整備を実施してきました。
令和6年度は、水槽付消防ポンプ自動車、査察広報車(山岳対応)の整備を実施しました。

【今年度事業内容】

神立消防署に配置している災害対応特殊救急自動車を更新します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
車両購入費	災害対応特殊救急自動車	40,000
その他	旅費、手数料、保険料等	107
合計		40,107



災害対応特殊救急自動車

【今後の予定】

消防力の強化を図るため、引き続き計画に基づいた車両の更新を進めていきます。

期待される効果・成果目標等

消防力の根幹である、緊急自動車を整備することにより、消防力の更なる強化を図り、安心安全なまちづくりに寄与します。

款	消防費	項	消防費
---	-----	---	-----

事業名	消防庁舎整備事業	(継続)	担当	消防本部 消防総務課
-----	----------	------	----	---------------

(単位：千円)

予算額		117,260	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金		基 本 目 標	4 全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地 方 債			
	そ の 他		政 策 方 針	3 全ての災害から市民を守る消防・救急体制の強化
	一 般 財 源	117,260		
全体事業費		2,379,046	事 業 期 間	令和3年度 ～ 令和10年度

事業の目的

老朽化した庁舎の整備と署所の再編を検討し、安定的・効率的な消防行政を目指します。

事業の概要

【これまでの経緯】

令和3～4年度 第一期・第二期 庁舎建設検討委員会

令和5年度 常備消防力適正配置等調査委託、土浦市消防庁舎整備検討委員会

令和6年度 新消防署建設用地選定委員会、意向調査、住民説明会、用地買収、埋蔵文化財調査

【今年度事業内容】

荒川沖消防署・南分署統合消防署基本実施設計を実施します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	基本実施設計委託	96,448
	配水管実施設計委託	10,923
	公共下水道実施設計委託	9,372
	公共下水道実施設計における特別調査委託	495
旅費	先進地視察	22
合計		117,260

【今後の予定】

令和8年度に工事着工、令和9年度に完成、移転を予定しています。

期待される効果・成果目標等

消防力を集約し、設備を更新することで、災害対応能力の更なる向上を図り、安心安全なまちづくりに寄与します。

款	教育費	項	教育総務費
---	-----	---	-------

事業名	教育委員会バス更新事業	(新規)	担当	教育委員会 教育総務課
-----	-------------	------	----	----------------

(単位：千円)

予算額		19,566	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金		基 本 目 標	1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地 方 債			
	そ の 他	300	政 策 方 針	2 時代の変化に対応した学校教育の充実
	一 般 財 源	19,266		
全体事業費		19,566	事 業 期 間	令和7年度

事業の目的

校外学習等に使用している教育委員会バス3台（大型2台、中型1台）のうち1台については、運行開始から20年が経過し、車両の老朽化が著しいことから、該当する大型バスについて、環境に配慮した低公害型の中型バスに更新し、安全で快適な移動手段を確保するとともに、教育の充実と環境負荷の低減を図ります。

事業の概要

【今年度事業内容】

教育委員会大型バス373号を低公害型の中型バスに更新します。

◎購入予定車両／中型バス（乗車定員45名） (単位：千円)

区分	概要	事業費
備品購入費	・車両購入費	19,474
役務費	・リサイクル料 ・自動車賠償責任保険	51
公課費	・自動車重量税	41
合計		19,566



更新予定の大型バス車両 373号(定員55名) 中型バス車両 2020号(定員45名)と同型に更新予定

期待される効果・成果目標等

小・中・義務教育学校の教育計画に基づく校外学習や宿泊学習、児童生徒が参加する体育大会やコンクール等で当該バスを使用することにより、学校教育の充実に寄与します。さらに、低公害車両の導入を通じて、自然環境への負荷低減にも貢献します。

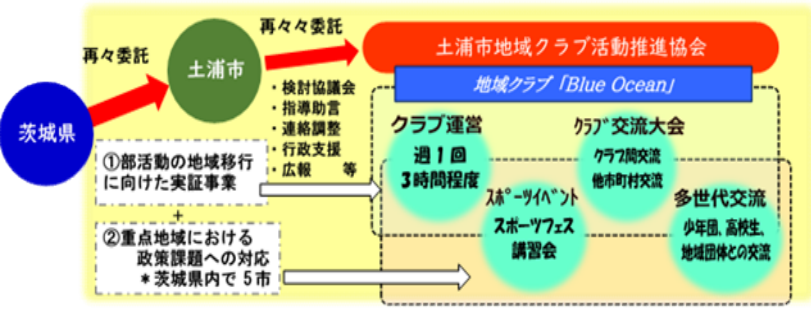
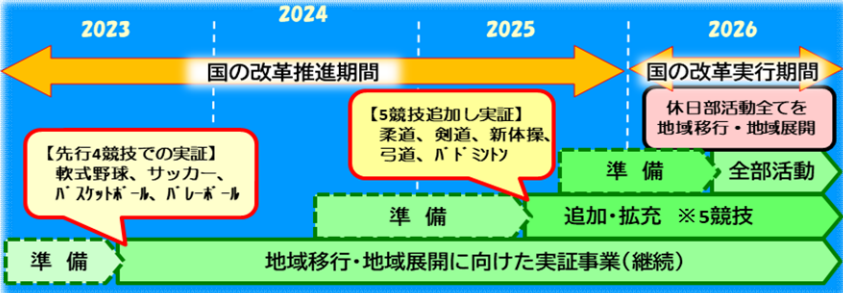
款	教育費	項	教育総務費
---	-----	---	-------

事業名	地域スポーツ・文化クラブ運営事業（継続）	担当	教育委員会 指導課
-----	----------------------	----	--------------

(単位：千円)

予算額		42,346	リーディングプロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	15,500	基本目標	1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	2 時代の変化に対応した学校教育の充実
	一般財源	26,846		
全体事業費		110,135	事業期間	令和5年度～令和8年度

事業の目的	部活動の教育的意義を継承・発展しながら「地域クラブ活動」として地域に展開していくことで、多様な体験機会と多世代交流機会を創出し、新たな価値観を共有できる、より豊かな活動を推進します。
-------	--

事業の概要	【これまでの経緯】 令和5年度より「土浦市地域クラブ活動推進協会」に委託し、運動部活動4競技で休日部活動の地域移行を先行実施する実証事業を開始しました。 令和6年度は通年実施を通じて、クラブ運営や学校・地域との連携の課題と成果を整理し、平日部活動を含む地域展開の検討を継続しています。  土浦市実証事業スキーム 茨城県から土浦市へ再々委託。土浦市は土浦市地域クラブ活動推進協会（地域クラブ「Blue Ocean」）にクラブ運営（週1回3時間程度）とクラブ交流大会（クラブ間交流、他市町村交流）を委託。また、①部活動の地域移行に向けた実証事業と②重点地域における政策課題への対応（茨城県内で5市）を実施。交流大会にはスポーツイベント、スポーツフェス、講習会、多世代交流（少年団、高校生、地域団体との交流）などが含まれる。 【今年度事業内容】 運動部活動5競技を追加し、地域移行・地域展開に向けて多様な移行モデルについての実証事業を継続します。 【今後の予定】 令和8年度には全部活動における休日部活動を、地域展開に向けた「地域クラブ活動」として実施する体制整備を行います。  土浦市部活動地域移行ロードマップ 2023年：【先行4競技での実証】軟式野球、サッカー、バスケ、バレーボール。準備段階。2024年：【5競技追加実証】柔道、剣道、新体操、弓道、バドミントン。準備段階。2025年：追加・拡充 ※5競技。準備段階。2026年：休日部活動全てを地域移行・地域展開。全部活動。国の改革推進期間（2023-2025）と国の改革実行期間（2025-2026）が示されている。地域移行・地域展開に向けた実証事業（継続）が2023年から2026年まで継続実施される。
-------	---

期待される効果・成果目標等	令和8年度までに全部活動における休日の地域クラブ活動化を推進し、持続可能なスポーツ・文化芸術活動の機会を確保します。また、多世代交流の場を創出し、地域の活性化に貢献します。
---------------	---

款	教育費	項	教育総務費
---	-----	---	-------

事業名	校内フリースクール等支援事業	(継続)	担当	教育委員会 指導課
-----	----------------	------	----	--------------

(単位：千円)

予算額		12,944	リーディング プロジェクト	1	子どもが夢と希望を持ち、生き生きと育つまちづくり
財 源 内 訳	国県支出金	3,486	基 本 目 標	1	心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地 方 債				
	そ の 他		政 策 方 針	2	時代の変化に対応した学校教育の充実
	一 般 財 源	9,458			
全体事業費		12,944	事 業 期 間	令和7年度	

事業の目的

不登校児童生徒の支援を行うために、各中学校に設置する校内フリースクールに支援員を配置します。この取り組みにより、校内における不登校生徒の居場所をつくとともに、学習支援や心理支援を行い、教室への復帰や社会的自立に向けた支援の充実化を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

令和5年度前期から、モデル校3校(一中・三中・四中)内に校内フリースクールを開設し、運営方法・支援方法の検証を実施しました。後期には新たに3校(二中・五中・六中)を追加して検証を行いました。

令和6年度には、全中学校内に校内フリースクールを開設し、県の校内フリースクール設置促進事業補助金を活用して支援員4名を配置しました。これにより校内フリースクールを常時開設しています。

【今年度事業内容】

令和7年度から支援員を6名に拡充し、不登校児童生徒支援の充実化を図ります。

令和6年度
4月～不登校児童生徒支援員2校配置
10月～校内フリースクール支援員4校配置
市内6校における校内フリースクール常時開設(2校は、週2・3日の開設)
令和7年度～
4月～校内フリースクール支援員6校配置
全中学校・義務教育学校での校内フリースクール常時開設
※県校内フリースクール設置促進事業活用

校内フリースクール支援員 + ポプラひろばアウトリーチ支援 = 学校内の居場所、社会的自立に向けた心の育成 (不登校生徒個々に合わせた支援)

令和5年度
校内フリースクール支援事業開始 支援方法の検証
令和6年度～
週1派遣による支援の充実化

校内フリースクール 支援の充実化 【学習支援・心理支援・交流活動】

学校復帰 教室復帰 社会的自立

期待される効果・成果目標等

令和5年度文科省調査における市立中学校の不登校生徒(30日以上欠席者)出現率は、前年比△5.6%、新規不登校生徒出現率は、前年比△1.4%となっており、近年増加の一途であった不登校生徒数が減少に転じています。校内フリースクールが学校に通えない生徒や欠席がちな生徒の居場所となり減少に繋がっているため、今後さらに拡充し、支援の充実を図ることで、社会的自立に向けた心の成長を促し、不登校生徒数のさらなる減少が期待できます。

款	教育費	項	小学校費
---	-----	---	------

事業名	上大津地区統合小学校整備事業	(継続)	担当	教育委員会 教育総務課
-----	----------------	------	----	----------------

(単位：千円)

予算額		232, 997	リーディング プロジェクト	1	子どもが夢と希望を持ち、生き生きと育つまちづくり
財 源 内 訳	国県支出金		基 本 目 標	1	心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地 方 債				
	そ の 他		政 策 方 針	2	時代の変化に対応した学校教育の充実
	一 般 財 源	232, 997			
全体事業費		456, 509	事 業 期 間	令和5年度 ～ 令和10年度	

事業の目的

児童数が減少し、学級数が適正規模に満たない小学校がある上大津地区について、「上大津地区小学校適正配置実施計画」（令和5年2月改訂）に基づき、上大津地区に統合小学校を整備します。

事業の概要

【これまでの経緯】

令和4年度（仮称）土浦市立上大津地区統合小学校整備基本計画策定

令和5年度 統合小学校建設用地取得、（仮称）土浦市立上大津地区統合小学校整備基本・実施設計委託プロポーザル選定検討委員会

令和6年度 基本・実施設計委託、道路工事实施設計委託

【今年度事業内容】

(単位：千円)

令和5年度～7年度の継続事業として、基本・実施設計を実施します。

また、埋蔵文化財調査や周辺道路の改良工事など、令和8年度の工事開始に向けた必要な作業を行います。

区分	概要	事業費
報償費	アドバイザー料	90
旅費	旅費	30
役務費	整備事業に係る申請手数料等	1, 030
委託料	基本・実施設計委託	156, 585
	埋蔵文化財調査委託	17, 661
工事請負費	市道田村116号線改良工事費	57, 601
合計		232, 997

【今後の予定】

〔施設整備スケジュール〕

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
基本・実施設計	→				
埋蔵文化財調査	→			令和10年4月開校	
校舎・体育館新築工事			→		
外構整備工事(解体工事共)					→

期待される効果・成果目標等

上大津小学校の整備により、学級数の規模の適正化を図ることで、児童の学習環境や学校生活など、より良い教育環境の整備と学校教育の充実に寄与します。

款	教育費	項	小学校費・中学校費
---	-----	---	-----------

事業名	小学校・中学校長寿命化改良事業（継続）	担当	教育委員会 教育総務課
-----	---------------------	----	----------------

（単位：千円）

予算額		18,472	リーディングプロジェクト	1	子どもが夢と希望を持ち、生き生きと育つまちづくり
財源内訳	国県支出金		基本目標	1	心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債				
	その他		政策方針	2	時代の変化に対応した学校教育の充実
	一般財源	18,472			
全体事業費		1,392,271	事業期間	令和6年度～令和7年度	

事業の目的

令和2年度に策定した学校施設の長寿命化計画に基づき、ライフサイクルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能・性能を確保します。

事業の概要

【これまでの経緯】

◎長寿命化改良工事

令和4年度 神立小学校屋内運動場棟及び特別教室棟、土浦第四中学校校舎棟（1期工）

令和5年度 東小学校屋内運動場棟、都和南小学校校舎棟及び屋内運動場棟（1期工）、土浦第四中学校校舎棟（2期工）

令和6年度 都和南小学校校舎棟及び屋内運動場棟（2期工）、乙戸小学校校舎棟及び屋内運動場棟（1期工）、土浦第二中学校柔剣道場棟

【今年度事業内容】

（単位：千円）

区分	概要	事業費
乙戸小学校校舎棟及び屋内運動場棟寿命化改良工事（2期工）	産業廃棄物処分・収集運搬委託、弱電移設作業委託、機械警備移設工事、申請手数料等	10,229
下高津小学校屋内運動場長寿命化改良工事	基本設計委託、耐力度調査委託、アスベスト調査委託	8,243
令和7年度 計		18,472
乙戸小学校校舎棟及び屋内運動場棟寿命化改良工事（2期工）	長寿命化改良工事、工事監理委託、仮設校舎借上	1,373,799
令和6年度繰越分 計		1,373,799
合計		1,392,271

【今後の予定】

学校施設の長寿命化計画に基づき、年次計画で長寿命化改良工事の基本・実施設計及び工事を行います。

期待される効果・成果目標等

長寿命化改良工事を行うことにより、安心・安全で持続的な学校施設となり、児童・生徒の教育環境の維持・確保に寄与します。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	コミュニティ・スクール推進事業（継続）	担当	教育委員会 生涯学習課・指導課
-----	---------------------	----	--------------------

（単位：千円）

予算額		4,429	リーディングプロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	625	基本目標	1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	2 時代の変化に対応した学校教育の充実
	一般財源	3,804		
全体事業費		4,429	事業期間	令和7年度

事業の目的

市立小中学校、義務教育学校に導入した「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」の円滑な運営と、学校と地域が相互にパートナーとして行う「地域学校協働活動」を一体的に推進し、「地域とともにある学校づくり」を目指します。

事業の概要

【これまでの経緯】

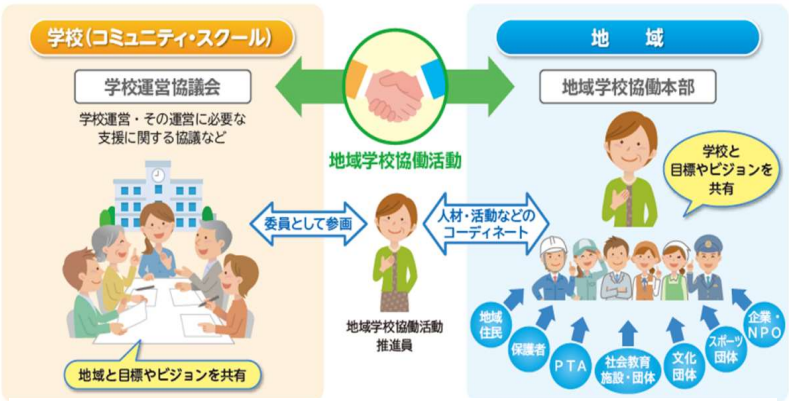
- ・ 令和3～4年度 新治学園義務教育学校を研究推進校（モデル校）に指定し、保護者・地域住民・学校長等を委員とした「土浦市コミュニティ・スクール推進委員会」を設置して、導入に向けた検討を行いました。
- ・ 令和5年度 市立小中学校、義務教育学校（全23校）にコミュニティ・スクールを導入し、各学校で学校運営の基本方針や学校評価等について協議を行いました。
- ・ 令和6年度 学校と地域をつなぐコーディネーターとして「地域学校協働活動推進員」を新治学園義務教育学校に2名配置しました。

【今年度事業内容】

- ・ 学校運営協議会の開催（各校3回程度）
- ・ 地域学校協働活動推進員の配置拡充

（単位：千円）

区分	概要	事業費
報酬	C S 委員報酬	3,312
報償費	活動推進員謝礼等	878
需用費	活動時消耗品等	164
役務費	活動時保険料	75
合計		4,429



地域学校協働活動のイメージ

【今後の予定】

地域学校協働活動推進員の配置を拡充するとともに、「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」を一体的に支援し、学校と地域の連携・協働を推進します。

期待される効果・成果目標等

学校、家庭、地域が連携して様々な地域学校協働活動に取り組むことで、地域や学校をめぐる課題を自立的・継続的に解決していく地域社会の実現が期待されます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	指定文化財等管理事業	(継続)	担当	教育委員会 文化振興課
-----	------------	------	----	----------------

(単位：千円)

予算額		2,760	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金		基 本 目 標	2 未来につなげる魅力あるまちづくり
	地 方 債			
	そ の 他		政 策 方 針	3 歴史・芸術・文化のあふれるうるおいあるまちづくり
	一 般 財 源	2,760		
全体事業費		2,760	事 業 期 間	令和7年度

事業の目的

土浦市文化財保存活用地域計画に基づき、個々の歴史文化遺産の調査研究を継続するとともに、適切な保存管理や保全措置等を講ずることで、本市の貴重な歴史文化遺産を守り、後世に伝承していきます。

事業の概要

【これまでの経緯】

令和5年7月 「土浦市文化財保存活用地域計画」が文化庁長官の認定を受けました。

【今年度事業内容】

◎文化財保存活用地域計画推進協議会の開催

文化財保存活用地域計画に位置付けた事業について、意見聴取及び進捗管理を行います。

◎文化財保存活用の支援

指定等文化財の所有者等に対して謝礼金を支給し、適切な保存活用を促します。

◎歴史的建造物調査委託

価値の高い歴史的建造物について詳細に調査し、滅失の恐れのある建造物の保存を推進します。

◎市指定文化財「愛宕神社本拝殿」茅屋根修理費補助

(単位：千円)

区分	概要	事業費
報償費	協議会委員謝礼・文化財管理者謝礼	940
委託料	歴史的建造物調査	330
補助金	愛宕神社茅屋根修理補助	1,490
合計		2,760



愛宕神社本拝殿茅屋根の
修理の様子

【今後の予定】

「土浦市文化財保存活用地域計画」に基づき、計画的な文化財の保存活用を進めていきます。

期待される効果・成果目標等

文化財の調査を進め適切な管理を行うことで、歴史文化を継承するとともに、市民の文化財への郷土愛を育みます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	文化財整備・活用事業	(継続)	担当	教育委員会 文化振興課
-----	------------	------	----	----------------

(単位：千円)

予算額		997	リーディングプロジェクト	2	未来につなげる「地域の宝」を生かしたまちづくり
財源内訳	国県支出金		基本目標	2	未来につなげる魅力あるまちづくり
	地方債				
	その他		政策方針	3	歴史・芸術・文化のあふれるうるおいあるまちづくり
	一般財源	997			
全体事業費		997	事業期間	令和7年度	

事業の目的

土浦市文化財保存活用地域計画に基づき、建造物や史跡等の文化財について、整備・活用を推進し、その魅力を高め、歴史文化を生かしたまちづくりを通し、本市の魅力向上につなげます。

事業の概要

【これまでの経緯】

- 令和5年7月
- 「土浦市文化財保存活用計画※」が文化長官の認定を受けました。
 - ※文化財保存活用地域計画
…文化財行政に係るマスタープラン及びアクションプラン
- 令和6年度
- 一色家住宅の耐震診断業務委託の実施
 - 一色家住宅利活用に係るサウンディング調査（国交省主催）の実施

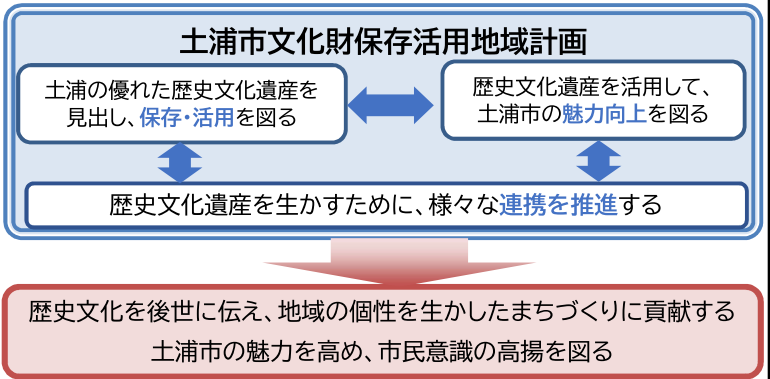
【今年度事業内容】

- ◎一色家住宅の維持管理、安全対策工事及び案内看板設置

【今後の予定】

一色家住宅について、近隣に点在する文化財（旧茨城県立土浦中学校本館や旧紫山塾主屋等）とともに面として捉え、歴史的価値等を広くPRし、活用を図ります。

また、新たな活用が求められる文化財について、効果的な手法等を検討し、計画的に整備等を進めます。



(単位：千円)

区分	概要	事業費
需用費	消耗品費、光熱水費	109
委託料	機械警備委託料	238
工事請負費	進入防止柵等設置	250
備品購入費	案内看板	400
合計		997

期待される効果・成果目標等

文化財の整備・活用を計画的に推進し、地域の宝を生かしたまちづくりに寄与します。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	特別展・企画展事業	(継続)	担当	教育委員会 上高津貝塚ふるさと歴史の広場
-----	-----------	------	----	-------------------------

(単位：千円)

予算額		1,014	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金		基 本 目 標	2 未来につなげる魅力あるまちづくり
	地 方 債			
	そ の 他		政 策 方 針	3 歴史・芸術・文化のあふれるうるおいあるまちづくり
	一 般 財 源	1,014		
全体事業費		1,014	事業期間	令和7年度

事業の目的

本市の歴史や文化遺産の調査研究成果を特別展や企画展の展示を通して広く公開することで、市民の生涯学習に対する要望に応えると共に、文化財保護に対する意識の醸成を図ることを目的としています。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成7年の開館以来、考古資料から本市の歴史を探る特別展や企画展を開催しており、これまでに、累計75万人以上が来場しました。

令和7年は開館から30周年の節目を迎える年となります。

【今年度事業内容】

上高津貝塚ふるさと歴史の広場開館30周年記念

第28回企画展「文字資料が語るもの（仮）」

会期：令和7年10月中旬～12月上旬

内容：

上高津貝塚ふるさと歴史の広場は、博物館活動と共に、市内遺跡の発掘調査を実施する埋蔵文化財センターとしての役割も担ってきました。その調査活動の中では文字の書かれた珍しい墨書土器などが見つかっています。写真はその一例で、常名での発掘調査で出土した貴重な平安時代の土器です。今回の企画展では、市内遺跡を中心にこれら出土文字資料を展示し、考古資料から見た古代社会の様相を紹介します。



市内遺跡出土墨書土器「億万」

(単位：千円)

【今後の予定】

今後も継続して埋蔵文化財発掘調査と資料調査を実施し、本市の歴史を明らかにすると共に、その成果を市民に公開していきます。

区分	概要	事業費
報償費	講演会講師謝礼	50
旅費	資料調査、借用旅費	12
需用費	印刷製本費、消耗品費	442
役務費	通信運搬費、保険料	510
合計		1,014

期待される効果・成果目標等

市民に身近な場所にある遺跡の出土資料を展示することによって、上高津貝塚ふるさと歴史の広場の博物館活動と埋蔵文化財への理解が深まると共に、歴史学習の機会を提供し、文化財保護意識を高める契機となることが期待されます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	重要資料公開推進事業	(継続)	担当	教育委員会 博物館
-----	------------	------	----	--------------

(単位：千円)

予算額		6,970	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金		基 本 目 標	2 未来につなげる魅力あるまちづくり
	地 方 債			
	そ の 他		政 策 方 針	3 歴史・芸術・文化のあふれるうるおいあるまちづくり
	一 般 財 源	6,970		
全体事業費		6,970	事 業 期 間	令和7年度

事業の目的	特別展やテーマ展を通して、本市の歴史に関する研究成果を広く公開・発信し、郷土の歴史を学ぶ市民の要望に応え、歴史への関心の向上を図ります。
-------	---

事業の概要

【これまでの経緯】

引き続き本市の歴史や文化を広く周知するため、総合展示や特別展等を開催しています。

【今年度事業内容】

令和7年度は、江戸時代の土浦藩主・藩士、城下の町人に関わる事績と文化、大正時代に始まる花火大会と空都（海軍航空隊）関係資料等、本市固有の歴史文化遺産を中心に公開します。

- ・第46回特別展「まなびのかたちー江戸時代のキャリアデザイナーー」（令和7年3月15日～5月6日）
- ・特別公開「土屋家の刀剣ー国宝・重要文化財の公開ー」（令和7年10月下旬～11月中旬）
- ・テーマ展「土浦花火百年」（令和7年10月中旬～11月下旬）
- ・企画展「土浦藩士の江戸・明治」（令和8年3月中旬～5月上旬）他

（単位：千円）

区分	概要	事業費
報償費	記念講演会講師謝礼	130
旅費	展示資料調査旅費	47
需用費	図録・ポスター等印刷	1,444
役務費	通信運搬費、保険料、手数料等	3,428
委託料	映像作品編集、展示データ製作	1,921
合計		6,970

【今後の予定】

新たに収集した資料や最新の調査成果をもとに、本市の歴史・文化の特長を分かりやすく説明する展示解説パネル（メッセージ展示）の更新を実施していきます。

特別展「まなびのかたち」チラシ



期待される効果・成果目標等	本市が誇る唯一無二の歴史文化遺産にスポットを当てた特別展示等を開催することで、郷土の歴史への関心の向上につなげます。
---------------	---

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

事業名	川口運動公園整備事業	(継続)	担当	教育委員会 スポーツ振興課
-----	------------	------	----	------------------

(単位：千円)

予算額		256,502	リーディング プロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財 源 内 訳	国県支出金	42,300	基 本 目 標	1	心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地 方 債	38,070			
	そ の 他		政 策 方 針	4	本市の特性を生かしたスポーツ活動の推進
	一 般 財 源	176,132			
全体事業費		256,502	事 業 期 間	令和7年度	

事業の目的

川口運動公園は、昭和29年度の開設から70年が経過し、施設・設備面で老朽化していることから、安全で安心して利用できるよう適切に維持管理をするとともに、有効に活用されるよう環境整備を行います。

事業の概要

【これまでの経緯】

- ・昭和29年度 川口運動公園開設
- ・昭和46年度 川口運動公園管理事務所竣工
- ・平成16年度 陸上競技場全天候型改修工事
- ・平成29年度 野球場改修工事
- ・令和5年度 野球場スコアボード改修工事



川口運動公園管理事務所（現況）

【今年度事業内容】

令和5年度に管理事務所の耐震診断を実施した結果、観客席の屋根や玄関のひさし、内壁等に所要の耐震性能が確保されていないことが判明したことから、大規模地震に備え、令和6年度に実施した耐震設計に基づく耐震補強工事を行います。

また、管理事務所は竣工から52年が経過しており、随所で経年劣化が見られるため、屋上・外壁塗装等外装改修や建具の交換等内装改修をあわせて実施します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
役務費	用器具倉庫設置完了検査手数料	27
委託料	工事監理委託料、産業廃棄物収集運搬処分委託料等	17,038
工事請負費	耐震補強等改修工事費等	236,298
備品購入費	什器等の購入費	3,139
合計		256,502

期待される効果・成果目標等

管理事務所の耐震補強工事及び各種長寿命化工事を実施することで、施設の安全性の向上や延命化に寄与します。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

事業名	小学校口腔衛生推進事業	(拡大)	担当	教育委員会 学務課
-----	-------------	------	----	--------------

(単位：千円)

予算額		1,390	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	1,210	基 本 目 標	1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地 方 債			
	そ の 他		政 策 方 針	2 時代の変化に対応した学校教育の充実
	一 般 財 源	180		
全体事業費		1,390	事 業 期 間	令和7年度

事業の目的

むし歯予防効果が認められているフッ化物洗口を学校で集団実施することにより、むし歯予防の習慣化を促し、児童自身が自分の歯を守る意識を身に付けるとともに、公平なむし歯予防機会を提供することで、健康格差の縮小を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

令和4年度より順次フッ化物洗口を導入しました。
 令和4年度：都和小4年
 令和5年度：都和小4・5年、中村小5年
 令和6年度：都和小・中村小4～6年、大岩田小4年、乙戸小5年

【今年度事業内容】

新規実施校として上大津東小及び菅谷小の2校を加えた6校において実施します。
 [令和7年度実施校（予定）]

小学校名	都和	中村	大岩田	乙戸	上大津東	菅谷
学年	4～6年	4～6年	4・5年	5・6年	4年	4年
対象者数	214人	169人	109人	108人	64人	22人
合計	686人					

[予算額]

区分	概要	事業費
需用費	フッ化物洗口液（オラブリス洗口液500ml）等	1,390

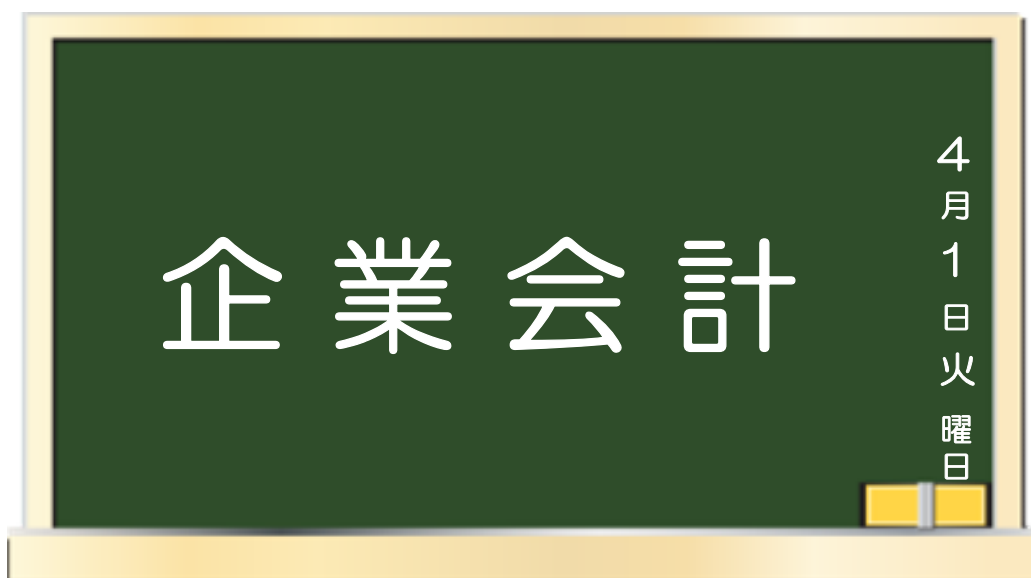
【今後の予定】

むし歯罹患率が高い学校から順次フッ化物洗口を開始し、全校実施を目標に対象校を拡大します。

期待される効果・成果目標等

児童自身が自分の歯を守る意識を持つことで、歯の健全な発育、さらには全身の健康増進に寄与します。また、フッ化物洗口の集団実施により、歯の健康に課題を抱える児童を取り残すことなく、健康格差の縮小が期待できます。

主要事業の概要



©土浦市

款	資本的支出費	項	建設改良費
---	--------	---	-------

事業名	配水管施設整備事業／老朽管更新事業（継続）	担当	建設部 水道課
-----	-----------------------	----	------------

（単位：千円）

予算額		513,757	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	34,500	基 本 目 標	7 未来につなげる環境にやさしいまちづくり
	地 方 債	30,000		
	そ の 他		政 策 方 針	4 人と自然にやさしい水環境の維持・改善
	一 般 財 源	449,257		
全体事業費		513,757	事 業 期 間	令和7年度

事業の目的

生活環境の改善と公衆衛生向上のため、送配水管の計画的な整備を行い、未給水地域の解消を図るとともに、安心・安全な水道水を安定的に供給するための相互連絡管路の充実を図ります。また、更新基準を経過した配水管の計画的な更新を行います。

事業の概要

◎配水管施設整備事業

未給水地域の解消と安心・安全な水道水を安定供給するための相互連絡管路網の充実を図ります。

【これまでの経緯】	令和2年度～令和6年度 布設延長 10,040m
【今年度事業内容】	実施設計委託 L=6,000m 配水管布設工事 L=987m 計79,058千円
【今後の予定】	第一次拡張計画に基づく配水管整備は、概ね市内全域に普及しています。今後は、残る地域について、配水管網の整備を推進します。

◎老朽管更新事業

施設の強化・耐震化により、漏水事故の未然防止と有収率の向上を図ります。

【これまでの経緯】	令和2年度～令和6年度 布設替延長 18,270m
【今年度事業内容】	実施設計委託 L= 650m 更新工事 L=2,976m 水道事業基本計画策定（見直し） 計434,699千円
【今後の予定】	更新基準を超えた铸铁管・鋼管等について、計画的な更新工事を推進します。



右艸地内送水管布設替工事

期待される効果・成果目標等

配水管施設整備と老朽管の更新を計画的に行うことで、利用者へ安心・安全な水道水を安定的に供給するとともに、災害時に備えた水の確保と災害に強い施設の確保に寄与します。

款	資本的支出	項	建設改良費
---	-------	---	-------

事業名	公共下水道（污水）整備事業	（継続）	担当	建設部 下水道課
-----	---------------	------	----	-------------

（単位：千円）

予算額		225,800	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	49,500	基 本 目 標	7 未来につなげる環境にやさしいまちづくり
	地 方 債	164,000		
	そ の 他	11,240	政 策 方 針	4 人と自然にやさしい水環境の維持・改善
	一 般 財 源	1,060		
全体事業費		225,800	事業期間	令和7年度

事業の目的

計画的に公共下水道を整備することにより、生活環境の向上と霞ヶ浦や河川等の公共用水域の水質保全を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

昭和41年度 公共下水道の整備着手
 昭和48年度 霞ヶ浦湖北流域下水道の流域関連公共下水道に変更
 平成21年度 全体計画変更（計画期間は令和7年度まで。計画面積 6,017.2ha）
 平成28年度 事業計画変更（期間の延伸）
 令和 4年度 事業計画変更（期間の延伸 令和10年まで）

【今年度事業内容】

- ・管渠整備工事（補助分） L＝665m
- ・管渠整備工事（単独分） L＝475m

【今後の予定】

令和6年3月末現在の事業計画区域面積に対する整備率は83.3％であり、引き続き、未整備地区（手野町・田村町・沖宿町・右籾地区等）の整備を進めます。



右籾地内 汚水管渠整備状況

期待される効果・成果目標等

市民の生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与します。
 ※目標：令和14年度末人口普及率 93.6％

令和6年3月末現在の本市の人口普及率 88.3％
 参考：全国平均 81.4％、茨城県平均 65.4％

款	資本的支出	項	建設改良費
---	-------	---	-------

事業名	公共下水道雨水排水路整備事業	(継続)	担当	建設部 下水道課
-----	----------------	------	----	-------------

(単位：千円)

予算額		1,633,211	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	651,286	基 本 目 標	4 全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地 方 債	981,200		
	そ の 他		政 策 方 針	5 激甚化する水害に対応するまちづくり
	一 般 財 源	725		
全体事業費		1,633,211	事 業 期 間	令和7年度

事業の目的

市街化の進展に伴う降雨時の家屋・道路等の浸水被害（冠水）の解消を図ります。

事業の概要

◎木田余1号雨水幹線整備事業

【これまでの経緯】

- ・ J R 常磐線横断工事委託
※平成25年度～平成29年度 債務負担行為設定
- ・ 排水路整備工事

【今年度事業内容】

- ・ 木田余ポンプ場 ポンプ設置工事（令和6年度～令和8年度）
- ・ 排水路整備工事 L=148m

【今後の予定】

- ・ 木田余ポンプ場のポンプ設置工事完了後、管渠の付け替えを実施

◎神立菅谷雨水幹線整備事業

【これまでの経緯】

- ・ 平成25年度に事業認可を受けた「神立菅谷雨水幹線」について雨水幹線及び調整池整備工事を実施

【今年度事業内容】

- ・ 排水路整備工事 □3,400mm×2,100mm L=50m
- ・ 調整池整備工事（残土搬出）

【今後の予定】

- ・ 雨水幹線及び調整池整備工事



木田余1号雨水幹線整備状況

期待される効果・成果目標等

大雨による浸水被害が減少し、市民の生活環境の向上に寄与します。

款別主要事業一覧表

事 業	頁
総 務 費	
ふるさと土浦応援寄附事業	20
本庁舎維持管理事業(窓口受付システムWEB機能導入)	21
水郷筑波サイクリング環境整備事業	22
奨学金返還支援事業／地方就職学生支援事業	23
公共施設等再編・再配置推進事業	24
公共施設包括管理事業	25
新公共施設予約システム導入事業	26
地域公民館整備事業	27
民 生 費	
保育所AI入所選考システム事業	28
衛 生 費	
各種予防接種事業(男性へのHPVワクチン予防接種)	29
保健センター管理運営事業	30
清掃センターごみクレーン外整備事業	31
農 林 水 産 業 費	
土浦ブランドアッププロジェクト推進事業	32
日本一のれんこん産地推進事業	33
畑地帯総合整備事業(虫掛地区)	34
かんがい排水事業(木田余地区)	35
商 工 費	
土浦全国花火競技大会開催事業	36
土 木 費	
橋梁耐震対策・長寿命化修繕事業	37
道路新設改良事業	38
都市下水路整備事業／小規模排水路整備事業	39
地域公共交通確保維持改善事業	40
地域地区等調査事業	41
開発候補地調査検討事業	42

事 業	頁
土 木 費	
スマートインターチェンジ整備事業	43
インターチェンジ周辺地区土地利用促進事業	44
田村沖宿線延伸道路整備事業	45
荒川沖木田余線(Ⅱ期)整備事業	46
木田余神立線街路事業(Ⅱ期)	47
川口ショッピングモール歩行空間再構築事業	48
まちなか定住促進支援事業	49
中心市街地まちなか再生事業	50
消 防 費	
常備消防車両更新事業	51
消防庁舎整備事業	52
教 育 費	
教育委員会バス更新事業	53
地域スポーツ・文化クラブ運営事業	54
校内フリースクール等支援事業	55
上大津地区統合小学校整備事業	56
小学校・中学校長寿命化改良事業	57
コミュニティ・スクール推進事業	58
指定文化財等管理事業	59
文化財整備・活用事業	60
特別展・企画展事業	61
重要資料公開推進事業	62
川口運動公園整備事業	63
小学校口腔衛生推進事業	64
企 業 会 計	
配水管施設整備事業／老朽管更新事業	66
公共下水道(汚水)整備事業	67
公共下水道雨水排水路整備事業	68



©土浦市